



▶この作品を書くにあたって
実際にライブハウスを取材
したそうだ。

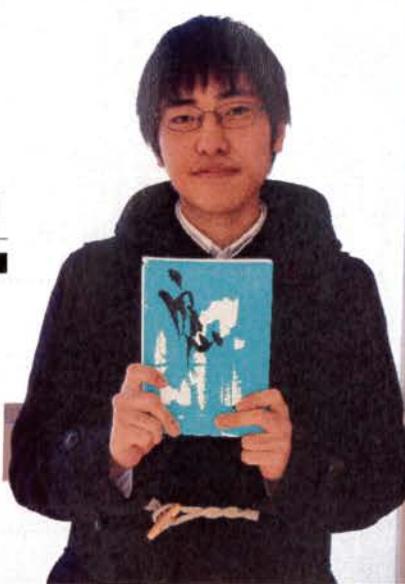
四限日 散文 I 100

高校生

吉田 尚史

薄暗いライブハウスの観客席は、若い笑い声とアンプから流れれる大音量の音楽に包まれている。人がシルエットみたいに見える。皆缶ビールを片手に大口を開けて笑っている。奥の方で音楽に合わせて踊っている集団がいる。そこだけ人が沸騰する水みたいに跳ねているのですぐに分かった。いつかテレビで見たライブバーみたいのようだ。

今日は夏のイベントとして学生のアーティストばかりのライブが行われた。その打ち上げ会場としてそ



◀「窓」第四十三号より「高校生」の冒頭

吉田君の作品「高校生」は全国高校生文学賞の大賞に選ばれ日本一となつた。この賞は本年度からできた賞だそうだ。吉田君は受賞した感想を「身に余りすぎて怖い。滋賀県では3位にも入らなかつたので驚いた。『高校生』はラ

この作品は小説家の村上龍さんの「限りなく透明に近いブルー」という作品がきっかけで書いたそうだ。吉田君はこういうダークなティストの作品を書きたいなと思つたこ

吉田君は「小説は書き始めたら夜遅くまで考えたりと生活が乱れていく。自分にとつては詩や短歌を考えるよりも2時まで考えたりしていたので大変だった」と苦笑した。

吉田君は「小説は書き始めたら夜遅くまで考えたりと生活が乱れていく。自分にとつては詩や短歌を考えるよりも2時まで考えたりしていたので大変だった」と苦笑した。

これからも小説を書きたい

全国高校生文学賞で大賞を受賞



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金龜町4番7号

新聞コンクール 大東文化大学学長賞を受賞

1月30日に第46回全国高校新聞コンクールの入賞校が発表され、本校新聞部が大東文化大学学長賞に入賞した。部長の江竜俊喜君(2-5)は入賞時の感想を「入賞校が発表されるまではとても緊張していて、夜も眠れないほどだった。入賞できたことがわかつた時は、喜びのあまり泣いてしまった」と明かした。副部長の米田明日香さん(2-3)は「受賞がわかったときは安心感と喜びで手が震えた。部員みんなで頑張って作ってきたものが評価されてうれしい」と喜びをあらわにした。表彰式は3月6日に東京都で行われる予定だ。